

赤外線センサー〈近赤外線ビーーム遮断方式(2段ビーーム対向型)〉

PB-100T(屋内100m以内用)



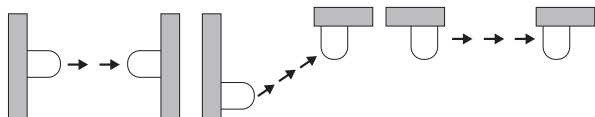
ホワイトカバーを標準搭載した屋内用2ビーーム型赤外線センサー

外乱光に強い（二重変調方式）

当社独自の二重変調方式と光電変換回路で外から入光する光（太陽光や車のヘッドライトなど）との識別性を高め、信頼性の高い警戒を実現します。

任意の方向にビーーム設定が可能

投光器・受光器ともに内部光学系を水平角 $\pm 90^\circ$ 回転することができるので、警戒方向を任意に設定できます。



親切設計

幅広い調整範囲（水平角 $\pm 90^\circ$ 、垂直角 $\pm 10^\circ$ ）

検知応答時間調整機能

検知応答速度は0.05～0.7秒までボリュームで連続可変。
現場に応じた誤報対策が図れます。

変調周波数切替機能

複数の赤外線センサーで直線警戒する場合や、多段警戒時に威力を発揮。投光器・受光器のパルスビーームの変調周波数を切り替えることにより、相互干渉を避けることが可能です。
（スイッチで1CH～4CHの変調周波数切替が可能）

2段ビーーム同時遮断方式

上下2本の赤外線ビーームを同時に遮断しないと発報しないAND方式の採用により、時間差のある瞬間的な遮光による誤動作が軽減されます。

外乱光対策

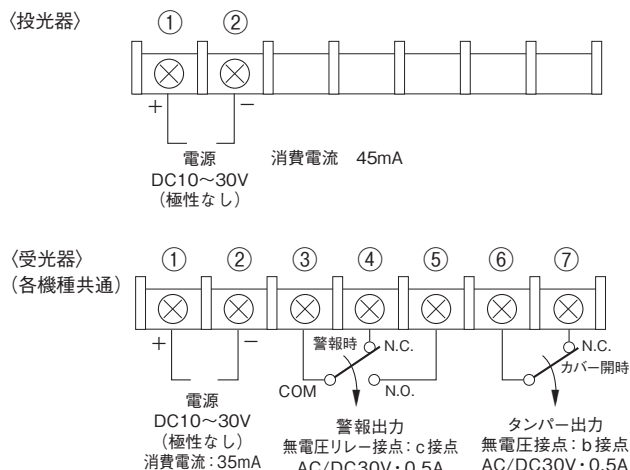
可視光線を効率よくカットする特殊フィルターを採用し、外乱光の影響を低減しています。

簡単・正確な光軸調整

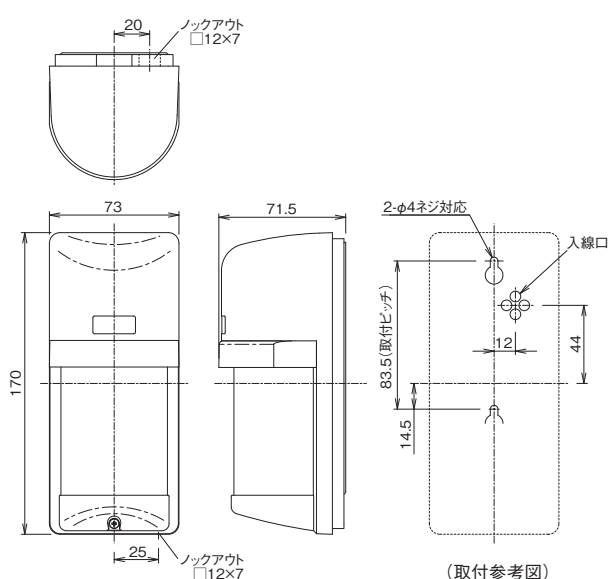
ファインダー式の照準器で光軸を簡単・正確に合わせることができます。また、市販のテスターで受光感度がチェックできるモニタージャックが付いています。

赤外線センサー〔近赤外線ビーム遮断方式（2段ビーム対向型）〕

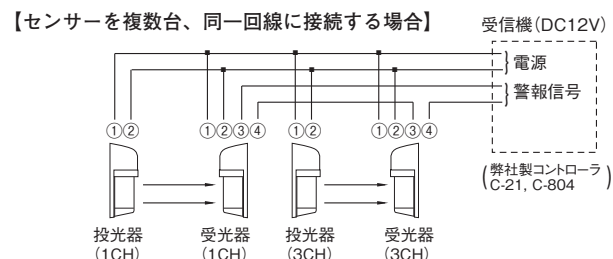
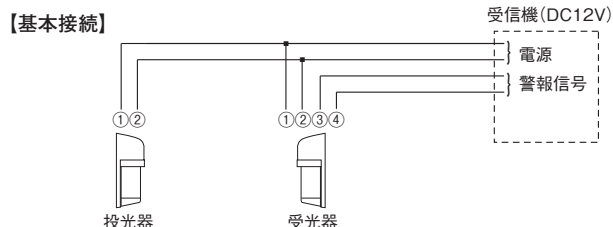
■ 配線方法（端子配列）



■ 外形寸法図（単位：mm）

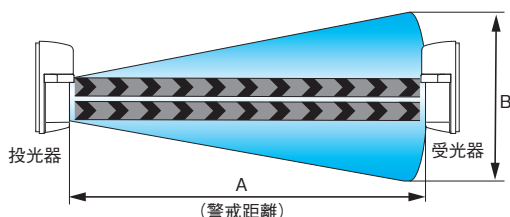


■ 基本配線図



■ 警戒距離と光芒の広がり図

光軸（光芒の中心）が正しく合っていると十分に
感度余裕を持った警戒ラインが形成されます



A: 警戒距離	B: 光芒の広がり
100m以内	約3.0m

■ 仕様

品番	PB-100T
検出方式	近赤外線ビーム遮断方式(2段ビーム対向型)〔二重変調方式〕
警戒距離	屋内100m以内
応答速度	0.05~0.7秒 (ボリュームにて可変)
電源電圧	DC10~30V (極性なし)
消費電流	80mA以下
警報出力	接点方式: 無電圧接点: c接点 接点動作: 遮光時間+オフディレイ動作 (約2秒) 接点容量: AC/DC30V・0.5A (抵抗負荷)
タンパー出力	接点方式: 無電圧接点: b接点 接点動作: カバーをはずした時に出力 (連続出力) 接点容量: AC/DC30V・0.5A (抵抗負荷)
アラーム表示灯	警報出力時: 赤色点灯 (受光器のみ)
受光感度表示灯	受光感度減衰時: 赤色点灯 (受光器のみ)
付帯機能	変調周波数切替機能 (4CH) ・ モニター出力機能 検知応答時間調整機能
使用可能周囲温度	-25℃~+60℃ (結露・氷結なきこと)
設置場所	屋内
配線接続	端子式 (M3セルフアップ端子)
質量	投光器: 約380g 受光器: 約400g
外観	樹脂 (ホワイト/ワインレッド)

■ 品質保証とアフターサービス ■

お客様のご要望にスピーディに対応できる品質保証体制とアフターサービス体制を整えています。

■保守点検■ 本商品の機能を常に正常に保つために日常点検及び定期点検を心がけてください。
弊社商品を安全にご使用いただくため、必ず商品添付の「取扱説明書」をよくご確認の上、正しく設置・運用してください。

■おことわり■ 弊社の商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身、ヘルスケア用途などに使用するために盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器、人身事故防止器、医療用機器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故、施工上の不備及び機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変（誘導雷サージ含む）などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

竹中センサーグループ
TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社

汎用センサー事業部
事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1 TEL (075) 594-7211 (代) FAX (075) 501-2085
札幌 (011) 281-4641 仙台 (022) 268-2411 郡山 (024) 962-4310 高崎 (027) 327-3981
さいたま (048) 653-7531 千葉 (043) 202-2551 東京 (03) 5805-8081 立川 (042) 540-1665
横浜 (045) 471-8467 長野 (026) 229-8130 静岡 (054) 254-8330 名古屋 (052) 209-9366
金沢 (076) 234-7201 京都 (075) 593-3171 大阪 (06) 6360-6881 神戸 (078) 230-6112
広島 (082) 223-1138 高松 (087) 821-0025 福岡 (092) 471-6245 熊本 (096) 387-3911
U.S. 408-747-0100 U.K. 01256-475555 AUS. 03-9544-2477

<https://www.take-ex.co.jp/>

※このカタログについてのお問い合わせは、販売店もしくは、当社にご相談ください。

■ 販売店名 ■